

月刊 グラフィックサービス

No.887 2025 10



サステイナブル委員会
宮本 誠 委員

サステイナブル委員会
高橋 亮太 委員

サステイナブル委員会
菅野 潔 委員

東京都神津島村
前田 弘 村長

■ 巻頭企画

菅野潔委員の神津島活動視察報告 第28回日本自費出版文化賞受賞作決定



■ 巻頭言

「幸運」を生きるために
——山梨県支部長／有限会社 明文堂 鈴木 智也

■ 連載

SPACE-21 広報部
**「楓翠会」工場見学&セミナー&納涼会
参加報告**

■ 特別企画

**インドネシア人技能実習生は、うちの「戦力」。
共立速記印刷の挑戦**

■ NEWSとお知らせ

**日本最大級の自費出版ライブラリー開設
日印産連 9月印刷の月式典**

CONTENTS

■ 巻頭言

- 1 「幸運」を生かすために
山梨県支部長／有限会社 明文堂 鈴木 智也

■ 巻頭企画

- 2 菅野潔委員の神津島活動視察報告
報告者 高橋 亮太
- 6 第28回日本自費出版文化賞受賞作決定

■ 特別企画

- 24 インドネシア人技能実習生は、うちの「戦力」。
共立速記印刷の挑戦

■ 連載・シリーズ

- SPACE-21 広報部
26 「楓翠会」工場見学&セミナー&納涼会 参加報告

■ NEWSとお知らせ

- 11 日本最大級の自費出版ライブラリー開設
23 日印産連 9月印刷の月式典

■ NEWSとお知らせ

- 19 ジャグラBBホットニュース
22 ジャグラショートカット開講日カレンダー
27 業界の動き
ジャグラ HOPE2025 に出展
地域活性化委員会 ぼうさいこくたいに初出展
ショートカット委員会 Adobe Express 入門講座を開講
三菱製紙 価格改定
JAGAT “印刷のチカラ”テーマに page2026 開催

- 18 雑学コラム④
29 事務局日誌と今後の予定

- 12 学校法人日本プリンティングアカデミー後援会
13 ホリゾン・ジャパン(株)
14 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)
15 (株)モリサワ
16 (株)ショーワ
17 東京リスマチック(株)
18 (株)研美社
20 業態進化委員会
表4 リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様に、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概要】

発行回数	月1回/年間12回	配布方法	・全会員へ直接郵送
購読料	ジャグラ会員は無償(会費に含む) ・希望企業、団体への有償配布		・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール edit@jagra.or.jp 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

「幸運」を生かすために

山梨県支部長／有限会社 明文堂 鈴木 智也



山梨県支部、定期総会直前、次期支部長内定者が辞退する事になった。

なんつこん?! 想定外の出来事に、一同動揺を隠せない。総会まで時間は無いし、次の支部長どーしっか?!

役員会でのそんな重苦しい雰囲気の中、満場一致の視線を感じた。

「えっ???’

「……………」

「……………」

「わりいけん、3日待ってくりよーし」

自宅に帰り、早速妻に相談した。

妻は、会社の事務から工場内までこなし、更にはお客様とのお付き合い、ジャグラのイベント、行事など理解してくれている。支部長が簡単ではない事も重々承知してくれているはずである。そんな妻が「やってみれば?」と言った。背中を押されるとはこう言う事か。鶴の一声ならぬ妻の一声であった。心の片隅では決心していたかも知れない。これも星の巡り合わせてやつなのかな。

弊社、創業100年を迎える年に舞い込んできた大役。勝手に自分の中に断り辛いを作っていたのかも知れない。

全容ではないが、若輩者の自分が支部長に就任する事となった経緯である。

さて、創業100年を迎え、頑なに避けてきた変化が必要になっている。

今までは、会社に看板も設けず、実績・信用・信頼を軸に後加工の依頼を頂く製本加工業でしたが、先代譲りの職人気質! 「遠く見えなくなってしまった時代の波を先回りして追い越す」そんな事を夢見る48歳。

ある日の事、「こんな加工ができるのは、日本に何人いるかな」と先代がつぶやく。小学生の頃から先代(父)の仕事を見たり真似たりして来たと言う事もあり、身近にあった特殊加工。周りを見渡しても検索してみても、なかなか見つからない。

これは結構特殊なんだな! この幸運な環境を使わないのは勿体ない!

そんな特殊加工を前面に打ち出し、今では北海道から九州まで、お問い合わせ・ご注文を頂くようになっている。デジタル媒体のおかげである。

自分の強みは紙媒体である! 便利なデジタルに対抗するのではなく、ペーパーレスだ! デジタルに移行するのだ! ではなく、しっかりと共存できる紙媒体を確立する事が望ましい。「本は紙を手にとって読みたい」と言う人は結構多い。「この辞書を直してもらえますか?」と言うお問い合わせに、「直す事は可能ですが、新しい物を購入された方がお安く済みますよ」と答えると、「いやあーこの辞書じゃなきゃダメなんだよ」と、その1冊に愛着をお持ちの方も多し。紙にはそう思わせる温もりがある。そんな「紙」に仕事として携わってられる事に感謝している。だからこそ、自分の強み(特殊な技術)と共に、紙媒体の可能性をデジタルで発信して行きたい。それも一つの共存であろう。

今後益々進化し、便利になっていくデジタルに置いていかれないように、今までの考え方を見直し、改め、日々の努力を怠らず自分自身も進化して行きたいと思っている。

折角なので山梨の話を。

山梨支部では毎月一回、定例会として会員皆で集まって飲食(山梨名物 無尽)をしながら情報交換から他愛のない話、研修会・親睦会の企画・開催を行っております。ぜひ山梨に遊びに来て定例会にも顔を出してみてください。一升瓶のワインを湯飲み茶碗で乾杯しましょう。山梨と、山梨メンバーの事を好きになると思いますよ(笑)

締め切り間近、急遽の無茶振り原稿依頼と言う事を逃げ場として、まとまりのない拙い文章ではありますが、ご容赦頂きますと幸いです。

菅野潔委員の 神津島活動視察報告

視察日：令和7年8月9日(土)～11日(月)
報告者：高橋 亮太

これからの印刷会社の進み方を考える 「サステナブル委員会」

東京都神津島村。竹芝桟橋から大型客船で10時間25分。伊豆七島の一つで世帯数913世帯、人口1,722人の島(令和7年8月1日現在)。ちなみに車のナンバーは品川だ。

事代主命(コトシロヌシノミコト)が伊豆諸島を造るため神々を集めた地で、かつては『神集島』と記された神話からなる由緒ある島。

同委員会のメンバーでもある城東支部の株式会社興栄社の菅野さんは、神津島村役場のお仕事を30年ほど続けており、年に数回訪島していたが、10年程前から『村おこし』に取り組んでいる。今回はその取り組みを菅野さんに案内してもらい、現地を取材した。

8月9日(土)夜23時、大型客船さるびあ丸に乗り込む3人。キラキラの竹芝桟橋から東京湾ナイトクルーズ→明朝に神津島到着の視察の旅がスタートする。天候も悪く出航も心配されたが、揺れもなく船上の風はとても心地良かった。初めての『特二等客室のベッド』は思ったより寝心地も良く、約10時間快適に過ごせそうだ。海に囲まれた島の暮らしにはどのような課題があるのだろうか?菅野さんが進める島での取り組みを現地取材し、その土地ならではの事や人とのつながりも伺いたい。



右から
菅野潔委員・宮本誠委員・高橋

離島ならではの課題とは(神津島村役場 村長に聴きました)

10時間の船旅も終わり、すぐさま神津島村役場へ向かうと、休日にも関わらず村長をはじめ職員の方も温かく出迎えてくれた。温かな笑顔と頼もしい佇まいの村長に案内され村長室へ。まずは菅野さんが現在開発を進める島内案内システムの見本を提案、宮本さんも流石のコミュニケーション力でお話を広げる。そんな出来過ぎた先輩二人に同行した私は初めての視察ということもあり緊張していたが、純粋にお聞きしたかった島の魅力や課題、観光施策を伺った。

島の課題

人口減少(人口の流出)産業の衰退:全盛期は離島観光ブームも相まって年間10万人を超える観光客が訪れた神津島であったが、現在島を訪れる方は4~5万人。漁業も盛んであったが気候変動などにより寒天などの原料となる『テングサ』が激減し、それを食す貝類が減り食物連鎖にて特産の『伊勢エビ』など甲殻類が壊滅、変わって潮の変化により『金目』が特産となる。

島の名産『明日葉』も今では本島で栽培も始まり価格が折れ合わなくなったとのこと...確かに産業がなければ若者は島を離れ、人口減少は免れないのかもしれない...。船で知り合った帰省中の若者との会話の「地元で働きたいが仕事が…」という言葉が思い出される。



神津島村役場前にて

星空があふれる神津島

島の魅力はなんといっても恵まれた自然環境である。現在観光施策の推しコンテンツが『星空』だ。ここ神津島は『星空保護区』にも認定されている。星空保護区とは、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える国際認定制度で、野生動物の保護やエネルギー削減といった環境面に寄与するだけでなく、人間本来の生活リズムを取り戻し、夜という普遍的な資源と、その土地を知ってもらうことにもつながっている。



菅野さんの取組を語る村長

昔から養蚕が盛んな土地だったが、「そこらへんに自生する桑の木で何かを作ろうとした人は今までにいない」と笑顔で語る村長の姿が印象的だった。こうした言葉からも、この島にはまだ眠っている資源や可能性があることが伝わってくる。島の課題や魅力を肌で感じる中で、外部の視点から新たな可能性を見出し、島の人々と共に行動を重ねてきたのが、株式会社興栄社の菅野さんである。ここからは、その歩みと挑戦をたどってみたい。

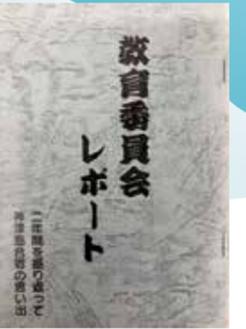
地域課題と向き合う～株式会社興栄社の挑戦～ プロローグ

まずこれまでの菅野さんの行動を探っていこう。菅野さんは現在、興栄社の代表を務めており、同社は会議資料など少数の印刷物を中心に手がけてきた。かつてはオフセットとオンデマンドを併用していたが、近年はオンデマンドの性能や環境対応が進化したことから、設備をすべてオンデマンドに移行。一部は協力会社に依頼しつつ、以前と変わらない営業活動を続けている。

平成8(1996)年6月14日の大型船で初めて神津島に渡った。当時、東京グラフィックス教育委員会に所属しており、船中1泊・島内1泊というスケジュールでの神津島視察であった。

その後、視察をきっかけに村役場から印刷の発注を受けるようになる。徐々に仕事量が増えるにつれ訪問回数も多くなり、2016年に桑の利用に関する助成金、2020年に桑の木を使った3Dプリンター用木質フィラメント開発で助成金が採択され、島民とともに様々な活動を継続している。

これらの事業は、基盤として印刷受注があるからこそ可能になっている。必ずしも単独で採算が取れる事業ばかりではないが、神津島が大好きで、島で有効活用されていない物を活かそうと考え、島民に協力を仰ぐうちに、人とのつながりが広がっていった。それにより本業にも相乗効果生まれ、次々とやりたいことが増えていき、開始から10年を迎えた今も進化を続けている。



グラノーラ製造と注文システムの開発

グラノーラは菅野さんが発案、2017年に神津島の開発センターで作り方教室を開催。参加者の一人である宿『だいじんこ』松江都さんが4種類(桑・明日葉・パッション・いか)のグラノーラ製造を引き受けてくれた。

現在は、島内の土産物店などからの注文を興栄社で受け、都さんに製造と島内各所への納品を毎月数回行ってもらっている。今年の8月からはChatGPTを活用し、Web開発で広く利用されるプログラミング言語PHPを用いた受注・製造・材料残数が管理できるシステムを開発し、運用が開始されている。

私もグラノーラを試食してみたが、甘さが控えめで地元素材などの配合バランスに食感も良い。そして作り手の人柄も感じられる優れた商品であった。



粉碎機・製品など

桑の木を利用して作っているのは、3Dプリンター用木質フィラメント・桑の葉入りグラノーラ・紙漉き体験用の繊維・神津和紙行燈である。

3Dプリンター用木質フィラメントは、桑の太い幹部分を5段階の粉碎機を使い54μmの粒子にし、特定の樹脂と混ぜ合わせ押出成形して作られる。

紙漉き体験用の繊維・神津和紙行燈で使用する和紙は、桑の若い枝の皮から採取するのだが、その作業が非常に大変であったため頓挫していたものの、今年の2月から酵素による分解で効率良く繊維が採取できる方法を発見し、今年の8月25日に完成した。行燈の枠は島内の大工さんに作ってもらい、そこに和紙と電球を取り付けた物だが、価格が高いため、売れた数は8個にとどまっている。なお、3Dプリンター用木質フィラメントと和紙の原料は、島の協力者・清水昭男さんとともに、伐採から粉碎・繊維採取までを行っている。



作業拠点『STA-M研究所』を見学

STA-Mとは“SusTainAble”の「S」「T」「A」と“Mulberry(桑)の「M」を組み合わせた名称である。室内には各種粉碎機があり、桑製品の作業場兼研究室として活用されている。和紙作り体験用の道具なども保管されており、中二階建ての整然とした作業スペースは使いやすそうな印象だった。数ある加工機は船で運び込んだという。実際の加工工程を見ることはできなかったが、その本気度は十分に伝わってきた。

キャンプ場の補助金獲得と利用者の受付を担当

2020年に宿『だいじんこ』の松江聖一さんから、「沢尻湾にキャンプ場を開きたいので補助金申請をしてくれないか」と菅野さんへ依頼があった。2021年の事業再構築補助金を申請し、見事に採択され、2023年4月に開設し、今年で3年目となった。この間に利用者受付フォームを作成し、興栄社が受付を担当。利用者情報はGoogle スプレッドシートでキャンプ場とリアルタイムで共有している。

補助金の申請や予約受付など、デリケートな作業はきっと大変なことが多いと思われるが、そうした寄り添った行動が島の人との信頼関係を生んでいるのだろう。ちょうど良い規模で整備された施設であり、目の前に広がる美しい砂浜と青い海、夜には満天の星を楽しめ、きっと素敵な時間を過ごせるだろう。



松江 聖一さん

ジョイキャンプだいじんこ

初期の紙漉き体験場

2016年に最初に採択された助成金で多幸湾にある村の土地を借り、『多幸湾桑和紙体験ハウス』を造った。大型テント、1㎡の給水タンク、かまど、物置を設置。そこで、島の協力者清水昭男さんと和紙の繊維を作り、神津島小学校の体験教室や、近くにある東京都のキャンプ場で観光客向けの和紙作り体験教室等を開催したが、この頃の和紙は不純物が多く混入し、思うような仕上がりにはならなかった。



多幸湾桑和紙体験ハウス

体験教室の様子

『水配り伝説』多幸湧水で育つクレソン

離島でありながら、湧き水が豊かな地としても知られる神津島。島の中心にある天上山は神々が水を分け合ったとされる『水配り伝説』があり、伊豆諸島を造った事代主命（コトシロヌシノミコト）等の神々が、命の源である水を分ける会議を天上山の不入が沢で行ったとされる。

命の水は先着順で配分され、一番乗りの御蔵島の神は最も多く入手できた。最後に到着した神様は、前日にお酒を飲み過ぎて寝坊した利島の神だった。怒って少なくなった水池に飛び込み、飛び散った水が神津島名所の湧水の源になったと伝えられている。豊富に流れる湧き水はまるやかな軟水で、その流れの先には清水昭男さんが栽培する青々としたクレソンが群生している。



多幸湧水

清水昭男さんが育てるクレソン

だいじんこ

『だいじんこ』とは、神津弁で『大切な人やもの』を意味する言葉である。

最終日は雨こそ降っていなかったが、思いのほか波が高く、帰りの交通手段であったジェット船は欠航。途方に暮れていたところ、宿だいじんこの娘さんが根気よくキャンセル待ちの手続きや帰れる策を考えてくれた。

宿だいじんこオーナーの松江聖一さんからは「空港に直接行って待っていれば、電話だけの客よりも、確実に目の前にいる客を優先するものだ」と温かいアドバイスをいただく。その言葉に背中を押されて空港へ向かうと、奇跡的に小型飛行機のチケットを手に入れることができた。約45分のフライトを経て、無事、東京の調布飛行場へ帰り着くことができた。

「なんとかなる」という一言では言い尽くせないが、人と人との関わりの本質を思い出させてくれた今回の神津島視察。村長をはじめ、滞在中に常に感じた島の人々の温かな気遣いは、自然と共に暮らすなかで育まれたおおらかさと仲間意識からくるものだろう。だいじんこの島で受け取った思いは、きっとこれからの自分の糧となるに違いない。



刺身漬け丼

お通しは魚の兜焼き

アクティビティーなども楽しめる赤沢遊歩道

20人乗りのプロペラ小型機

神のチケット

エピローグ

興栄社の菅野さん曰く、サステナブルな事業を続けてこれたのは、印刷という基盤があった事と、様々な人達と出会えた運の良さだったという。その中で最も大切にしている事をお聞きした。

島で出会った人達を裏切らないためにも、継続するための“五ヶ条”を掲げている。

- ・「儲けることを前提に考えない」
- ・「トータルで利益を確保する」
- ・「地域の人と関わり、信頼関係を築く」
- ・「絶対に諦めない」
- ・「常に、新たな事業(夢)を考える」以上の五ヶ条を大切にしている。

現在も様々な事業を並行して動かしているが、次なる夢を語るときの瞳は、少年のように輝いていた。その新たな挑戦とは『廃墟ホテルの再開発計画』である。沢尻湾を望む絶好のロケーションに建つその廃墟ホテルは、かつては洗練されたデザインで注目を集めたが、室内は荒らされ、窓ガラスも割られている。島民には『お化け屋敷』と言われ誰も近づかないこの場所に、もう一度命を吹き込みたいと考えているようだ。

夢を語り続ける先輩と過ごした三日間は、自分にもまだ挑戦できることがあると力強く背中を押してくれた。立地に恵まれたこの廃墟ホテルが、これからどんな物語を紡いでいくのか。これからも見届けていきたいと思う。



廃墟化したホテル

我々だからできること

印刷業は、さまざまな役を演じる俳優に似ていると思う。医療・製造・福祉・飲食等さまざまなジャンルの取引先を持つ我々は、製作物を作り上げる過程で学び・考え・形にする。そう、さまざまな業種を体験できるわけだ。

人は近すぎると見えない・気づかないという事がよくある。だからこそ外部の視点から課題解決を提案する菅野さんの取り組みは島の人々にとって英雄でもあり、新たな希望が潤滑油となり、心を動かし持続可能な活動となっているのだろう。そしていかにしてその土地の魅力を発信して伝えるのか、本来得意分野である我々が寄与できる場所は多いはずだ。「印刷はオマケ」と笑顔で話す菅野さんの本質を知り、また一人追いつきたい先輩の姿がそこにあった。



キャンプ場にて

栃木の仲良しコンビが島を巡った3日間～高橋からの置き土産～

神津島で活動を続ける菅野さんの案内で、栃木県の宮本さんとともにその足跡をたどった“学びの旅”。島での滞在はわずかな時間であったが、若き日に過ごしたスペインの気候に神津島はよく似ていることに気づいた。調べてみると年間平均気温は17度、地中海の穏やかな気候にとっても近く過ごしやすい土地のようだ。動植物に関心が強く、料理を趣味とする私の頭には、島に役立つようなひとつのアイデアが浮かんだ。

それは南ヨーロッパや西アジア原産の美しく高貴なスパイス『サフラン』の栽培である。サフランは水はけの良い穏やかな気候を好む。紫色の花は美しく、3分裂した雌しべを収穫後、乾燥させ、主にリゾットやパエリア、ブイヤベースなどに使用されている。注目すべきは市場価格は1gあたり約1,000円！鮮度により香りが変化するが、ある程度の保存性もあり、何より輸送コストも低く抑えられるはず。観光で初秋の花を楽しみ、収穫後はスパイスとして活用し、レストランの運営や全国に『神津島サフラン』として販売するアイデアだ。

伊豆諸島のオリーブオイル、新鮮な魚介類、神津島の湧き水で育ったクレソンと共に神津島風パエリアはきっと相性も良く年齢問わず楽しんでいただけるだろう。

サフランの花言葉は『喜び』。色と香りは、人の気持ちを引き立て、明るくすると信じられていた。それは島の人々の雰囲気とも合致し、ストーリー性も感じられる。菅野さんにこの食・観光・農業のアイデアをお話ししたところ、早速苗の手配と地元の方々との農地テストを開始してくださいという。この行動力は、島民に常に真摯に接してきた菅野さんならではのスピードなのだろう。

次回の訪島時には、サフランの収穫を自ら行い、今回は残念ながら天候の関係で観ることの出来なかった満天の星の下、島民の皆さんとグラスを重ね合い、スペインのMamá直伝のパエリアを皆に振る舞うことが私の夢となった。訪れた人々が「いつかこの島で暮らしてみたい…」と思える神集島であることを願って。



第28回

日本自費出版文化賞 受賞作決定

大賞受賞はなし、色川大吉賞に「私のことはわたしが決める」



発表する鎌田審査員長

日本グラフィックサービス工業会主催、NPO 法人日本自費出版ネットワーク主管の第28回日本自費出版文化賞の最終選考会が9月1日、吉祥寺東急 REI ホテルで開催されました。

厳正な審査の結果、前年比12%増となる応募作品805点から色川大吉賞1点、部門賞7点、特別賞7点、シルバー

特別賞1点の計16点の受賞作品が決定しました。残念ながら今回大賞は「該当なし」となりました。

最終審査会後の記者発表会で岡本会長は「今年も力作揃いだった。今回は大賞の該当賞がないということで、28回を数える自費出版文化賞、やはり基準を厳しくということで、応募作品の中からベストなものをということではな

く、各賞に適合したものを選んでいくという選考委員の皆さんの審査に対する情熱を感じることができた。自費出版の世界は今年も伸びている。海外ではすでに Amazon で2割を超えるものが自費出版であったり、毎年30万タイトルくらいが自費出版されているというようなことも聞く。技術的には POD の発展も大きく影響しているのではと思う。POD の開発で一般ユーザーの出版に対するハードルが下がった。今後ますます、日本でも自費出版の世界が伸びていくことは、間違いない。これからも自費出版の世界を日本で確固たる文化にしていくんだという思いで、引き続き取り組んでいく」と主催者を代表して挨拶しました。

鎌田慧選考委員長は「自分の記録を残したい、自分が作ったものをカタチにしたいという夢は時代が変わっても、むしろますます強まっている。そういう点で自費出版文化賞の応募点数が増えているというのは時代を反映していると言える。活字文化が衰退していると言われていたが、作品

を残したい人たちの夢は残っている。それを保障するシステムとして日本自費出版文化賞がある。残念ながら今年は大賞の該当はなかったが、これからもしっかりと審査していく」と講評を述べました。

第28回日本自費出版文化賞応募点数

地域文化部門	102点 (昨年107点)
個人誌部門	112点 (昨年110点)
小説部門	215点 (昨年145点)
エッセイ部門	121点 (昨年88点)
詩歌部門	79点 (昨年64点)
研究評論部門	114点 (昨年113点)
グラフィック部門	62点 (昨年92点)
合計	805点 (昨年719点)

第28回 日本自費出版文化賞

色川大吉賞



私のことはわたしが決める
松本移住の夢をかなえたがん患者、77歳

竹内 尚代 著
(長野県松本市)

発行社：社会評論社 / 印刷所：倉敷印刷



主催者挨拶を述べる岡本会長

第28回 日本自費出版文化賞

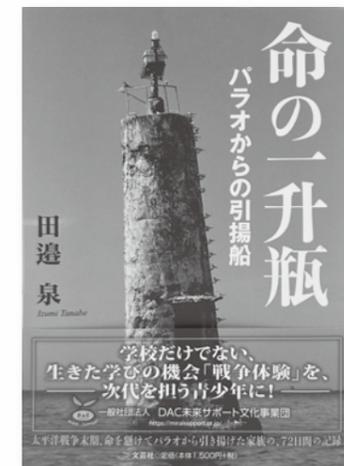
シルバー特別賞 コダック合同会社賞

命の一升瓶

パラオからの引揚船

田邊 泉 著
(岡山県倉敷市)

発行社：文芸社 / 印刷所：フクイン



第28回
日本自費出版文化賞

部門賞



紙で残す私の1枚

「紙で残す私の1枚」刊行委員会 編
(長野県高山村)
須高郷土史研究会(発行)、文藝出版(発売)
/ブンゲイ印刷

地域文化部門

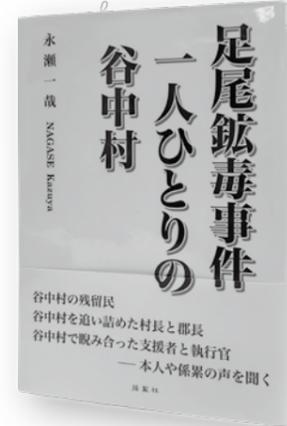


手記「もやいの海」
菅原 洋一 著
(大阪府堺市)
文芸社 / フクイン

個人誌部門



地域文化部門
コニカミルタジャパン賞



足尾鉍毒事件
一人ひとりの谷中村
永瀬 一哉 著
(東京都八王子市)
揺籃社 / 清水工房

個人誌部門
リョービMHIグラフィックテクノロジー賞



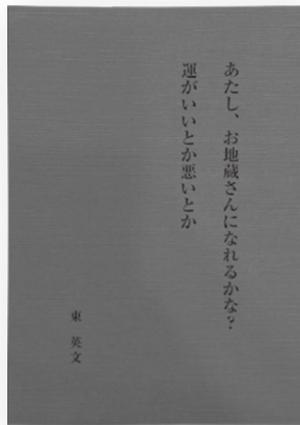
みちのく朝日連峰山だより
あるナチュラルリストの小屋番日記から
西澤 信雄 著
(山形県朝日町)
22世紀アート / POD (Amazon など)

第28回
日本自費出版文化賞

特別賞



小説部門



あたし、お地蔵さんになれるかな？
運がいいとか悪いとか
東 英文 著
(東京都世田谷区)
東 英文 / 文伸



エッセー部門



実話 税務調査
照 伝光 著
(大阪府大阪市)
せせらぎ出版 / POD (Amazon など)



小説部門
ハイデルベルグ・ジャパン賞



謝名元慶福作品集
ファイナダーの中の戦場
謝名元 慶福 著
(沖縄県西原町)
ゆい出版 / 平河工業社



今日も世界の片隅で
テレビの裏側で30年
宮澤 豊孝 著
(千葉県白井市)
幻冬社メディアコンサルティング(発行)、幻冬社(発売)
/シナジーコミュニケーションズ

エッセー部門
キングコーポレーション賞



詩歌部門



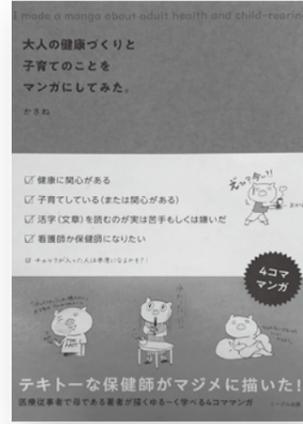
句集 匙のうら
森 羽久衣 著
(東京都新宿区)
北辰社 / 光栄印刷

研究・評論部門



関東大震災・検見川事件
「検見川事件」秋田・三重・沖縄県人殺害
附・沖縄県人の震災体験
島袋 和幸 著
(東京都葛飾区)
島袋 和幸

グラフィック部門



大人の健康づくりと子育てのことを
マンガにしてみた。
かさね 著
(神奈川県横浜市)
リーブル出版 / リーブル

詩歌部門
ショーワ賞



歌集 別れと知らず
名嘉真 恵美子 著
(沖縄県宜野湾市)
ながらみ書房 / メデューム



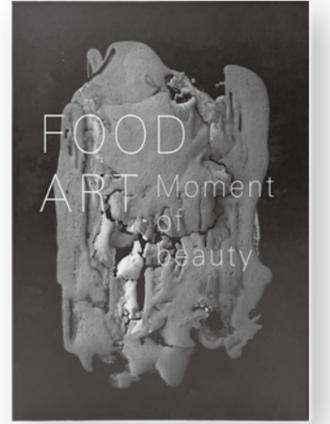
研究・評論部門
ホリゾン・ジャパン賞



ex-dreams
もうひとつのミッドセンチュリーアーキテクチャ
福島加津也、富永祥子、佐脇礼二郎 編集・企画
(東京都世田谷区)
ガデン出版 / ライブアートブックス



グラフィック部門
富士フィルムグラフィックソリューションズ賞



FOOD ART
Moment of beauty
袴田 尚弥 著
(神奈川県茅ヶ崎市)
DAG / 修美社

日本自費出版ネットワーク

日本最大級の自費出版ライブラリー開設 自費出版文化賞の入賞作など一万冊を蔵書

入選作品

書名	著者	著者住所	発行者(者)	印刷所
地域文化部門				
豊かな島 豊島 ーてしまねえさんの記憶集ー	平井由基	徳島県阿南市	文理閣	新日本プロセス
ノトアリテ	一般社団法人くくむ(企画制作)	石川県金沢市	NPO法人共存の森ネットワーク	栄光プリント
女たちが語る阪神・淡路大震災 1995-2024 ーいいことがいっぱいあったー	一般社団法人女性と子育て支援センター	兵庫県神戸市	ペンコム(発行、インプレス(発売))	シナバプリッシングプレス
富江騒動始末記	竹山和昭	茨城県牛久市	郁朋社	日本ハイコム
芸妓たちの野球チーム ー鹿沼町花街小史ー	野中富弘	栃木県鹿沼市	随想舎	晃南印刷
節黒城風雲録 ー歴史を動かした越後妻有ー	渡辺正範	新潟県十日町市	節黒城山祭り50周年記念事業実行委員会	滝沢印刷
勸進・国人・仏教文化 ー中世土佐幡多荘の寺院と地域社会ー	東近伸	高知県四万十市	22世紀アート	POD (Amazon など)
まるごと相模湾 ー首都圏の海から読み解く日本の漁業ー	木幡孜	神奈川県二宮町	22世紀アート	POD (Amazon など)
個人誌部門				
自分の命は自分で守る 読めば得する医学の真実	土山智也	石川県金沢市	北國新聞社	ー
甦る魂 ー性的虐待のトラウマからの回復と冒険物語ー	大塚静子	神奈川県横浜	青山ライブ出版	ー
数奇の革命 ー利休と織部の死ー	児島孝	京都府宇治市	22世紀アート	POD (Amazon など)
きのくに・神野の里 ー歴史の情景の中の日本と、山村の生活ー	森下和彦	大阪府松原市	22世紀アート	POD (Amazon など)
仏教の哲学	伊東由文	徳島県徳島市	22世紀アート	POD (Amazon など)
これであなたも野菜作り名人! ー栽培のための知識と実践ガイドー	前田泰紀	埼玉県東松山市	22世紀アート	POD (Amazon など)
歩き遍路は山あり谷あり海あり ー「車・徒歩・自転車」3つの旅路ー	増田英俊	徳島県阿南市	22世紀アート	POD (Amazon など)
小説部門				
へボン博士の辞書物語	永島道男	福島県いわき市	つむぎ書房	ー
小説「雪原に咲く」 ー幕末アイヌ墓地盗掘事件始末ー	不破裕	北海道札幌市	アスカエノブックス(発行、新田社出版(発売))	フクイン
遠い国	尾形界而	神奈川県山北町	尾形界而	タウンニュース社
短編集 未熟な大人と純粋な少年	うえだジョージ	鳥取県伯耆町	今井出版	今井印刷
母は眠る。見事に眠る	ワカヤマヒロ	新潟県新潟市	新潮社図書編集室	錦明印刷
次郎 337日 ー田中清作品集Ⅱー	田中清	福岡県福岡市	銀河書籍	ニシダ印刷製本
もはや堪忍なり難く 大塩平八郎の乱	竹中敬明	静岡県浜松市	サンライズ出版	サンライズ出版
アジアのヴィーナス ー澤田展人小説集ー	澤田展人	北海道札幌市	中西出版	中西印刷
エッセー部門				
折にふれて 一ふとしたことから思わず身構えてしまったことまでー	羽鳥修平	東京都文京区	東京図書出版(発行、リファ出版(発売))	ブレイン
中国人留学生から見た日本	徐徳明	中国上海市	東京図書出版(発行、リファ出版(発売))	ブレイン
シニア世代の絵本のような本 心のふる里人形展	宮竹真澄の人形工房(編著)	北海道旭川市	宮竹真澄の人形工房	あいわプリント
佐藤武世のエッセイ集 野原を駆け巡る	佐藤武	北海道石狩市	中西出版	中西印刷
神の一滴	横雲一美	埼玉県さいたま市	文芸社	フクイン
私がいた風景 おてんと様が見ているよ!	長岡稔	東京都足立区	プラスエム	秋田協同印刷
時々、あなたの風が吹く ー「ひたすらに生きた息子の話」ムネオの北海道五十三次道中記ー	野田口茂	岩手県久慈市	野田口茂	ヘイハン印刷
生きる 亡き夫と共に	田浦チサ子	福岡県北九州市	海鳥社	九州コンピュータ印刷
詩歌部門				
歌集 フィルム	丸地卓也	埼玉県所沢市	創文化出版(発行、KADOKAWA(発売))	中央精版印刷
坂田晃一句集 耳輪鳴る	坂田晃一	東京都小平市	ふらんす堂	三修紙工
句集 瑠璃色の潮	沼田布美	東京都八王子市	文學の森	創栄図書印刷
句集 吾亦紅	内山まちな	神奈川県相模原市	草土社	喜怒哀楽書房
古賀博文詩集 封じられた記憶	古賀博文	福岡県太宰府市	書肆侃侃房	モリモト印刷
カシオペア ー向瀬美音句集ー	向瀬美音	東京都新宿区	ふらんす堂	明誠企画
詩集 私のいる場所	猪爪知子	北海道札幌市	猪爪知子	プリントモリス
歌集 地吹雪と輪転機 ーA newspaperwomanー	森澤真理	新潟県新潟市	六花書林(発行、開発社(発売))	相良製版印刷
一滴	山中六	鹿児島県姶良市	思潮社	創栄図書印刷
研究・評論部門				
【家紋の国】はいかに西歐化したのか	安田裕貴	愛知県名古屋	ブイツーンリノベーション	ー
檀一雄の従軍日記を読む	山城千恵子(編著)	埼玉県新座市	新潮社図書編集室	錦明印刷
日本二十六聖人 三木パウロ殉教への道	玉木謙	熊本県天草市	弦書房	シナノ書籍印刷
泳ぎを楽しむようになったよ私たち ー「知的障がい・発達障がい児者への水泳指導実践40年」の記録ー	原通範	和歌山県和歌山市	清風堂書店	尼崎印刷
四十一人の写楽 ー東洲斎写楽「別人説」の研究ー	式鳥傘寿	京都府京都市	つむぎ書房合	ー
蕪村八景	一二三壯治	京都府京都市	科学書院(発行、豊か出版(発売))	篠原紙工
いま、九州本土の砂浜で起きていること ー写真で見る生きもの調査と消えゆく砂浜ー	吉崎和美	熊本県天草市	22世紀アート	POD (Amazon など)
手遊び草編み玩具 (全5巻)	新崎宏	沖縄県読谷村	琉球新報社(1巻・2巻)、豊屋出版社(3巻・4巻)	新星出版(1・2・3巻)、東洋企画(4)
グラフィック部門				
日立鉱山に生きた人々 ー「閉山」とその後、そして現在ー	中井川俊洋	東京都中野区	日立高速印刷	日立高速印刷
新ふるさとの風物詩 ー諏訪地方とシルク・蚕糸業のいまー	細川伸吉	長野県茅野市	日本写真企画	誠晃印刷
八百年少女の物語	田中つゆ子	福岡県久留米市	田中つゆ子	坂井印刷
Poroloids	篠原邦博	東京都渋谷区	篠原邦博	共同製本
おなかのポタン	平田エミ	高知県高知市	リーブル出版	リーブル
宮崎ツヤ子コレクション モラのカラー図鑑 ーパナマの先住民アートー	宮崎ツヤ子、丸地真男、宮崎理絵	東京都渋谷区	パレード(発行)、星雲社(発売)	中央精版印刷
Fashion + イラストで学ぶファッション	鄭貞子、小野順子	埼玉県志木市	IKOMA出版	社光舎印刷
いのちずかん	ありあはさしん(く)、いげあひる(え)	熊本県熊本市	まりあ助産院	グラフィック

このほど、滋賀県近江八幡市浅小井町ヴォーリズみらいビレッジ内に日本最大級の自費出版ライブラリーが開設された。ヴォーリズみらいビレッジは、およそ 29,000㎡ (東京ドームの 2/3) の広さを持ち、ヴォーリズ建築の資料館としてのエリア、SDGs に取り組む地域企業との連携拠点としてのシェアオフィスエリア、中高のクラブ活動を含めた地域スポーツ活動 (FC ヴォーリズ・滋賀 YMCA 等) のエリア等に分かれ、さまざまな取り組みを行っている。

日本自費出版ネットワークは、日本自費出版文化賞応募作品を当初、私設自費出版図書館や文化フォーラム春日井などに寄贈し、公開展示を依頼していたが、第 15 回以降は応募作品が分散することを避けることから滋賀県のサンライズ出版で保管しつつ、年 2、3 回のペースでネットワーク会員社の協力のもと、各地で巡回展示を行い、一部の優秀作品を展示するにとどまっていた。

貴重な作品の数々を何とか公開できることを願っていたところに、施設の有効活用を望んでいたヴォーリズ学園との縁があり、今回の保管展示に至った。これには、ヴォーリズみらいビレッジ旧小学校跡地の管理者である有限会社ウエストの尽力もあり実現した。自費出版ネットワークとしては、同施設を有効活用しながら自費出版文化のさらなる醸成に努めるといふ。



入賞作品

歴代大賞作品

ヴォーリズみらいビレッジ

(滋賀県近江八幡市浅小井町 699 番地)

「ヴォーリズ学園は、近江兄弟社中学校、近江兄弟社高等学校、近江兄弟社ひかり園、もりの風こども園、そらの鳥こども園、ほしの恵みこども園、安土ののほな保育園、ふるたか虹のはし保育園を運営しています。他に、近江八幡市内に「浅小井校地」「北之庄校地」を所有し、中学校・高等学校のクラブ活動や体育の授業・課外活動で活用しながら、空いている場所・時間を地域の活性化のために使ってもらえればとの思いで、「ヴォーリズみらいビレッジ」と名付けて、活用を進めています。「有限会社ウエスト」による、子どもさんやその保護者のための「つなぐルームイベント」に加えて、「貸棚こども書店」「自費出版ライブラリー」など新規事業もスタートします。」(ヴォーリズ学園ホームページ) より



みらいビレッジ

みらいビレッジ既設の状況

有限会社ウエスト

(滋賀県近江八幡市たかかひ町南 1-3-11)

1989 年創業、広告・ポスター・パンフレット・ダイレクトメール・会社案内・広報誌などの企画制作、ホームページ企画制作・運営・管理、動画編集・DVD 制作、屋内外サイン・ネオン・ディスプレイ・アクリル加工・店舗内装などの企画制作、イベント企画・開催・運営。2022 年より「ヴォーリズみらいビレッジ」内の旧小学校校舎を借り受け、「つなぐルームイベント」「貸棚こども書店」などのプロジェクトを展開している。

自費出版ライブラリー

- 開設日：2025 年 10 月 1 日
- 場所：滋賀県近江八幡市浅小井町 ヴォーリズみらいビレッジ内
- 蔵書数：10,000 冊 (第 1 回からの入賞作品と第 16 回以降の全応募作品)
- 開館日 / 休館日：開館カレンダーに準ずる
- 開館時間：10:00~17:00
- 入館料：無料 (原則として予約が必要) 090-1224-3246



ライブラリー全景

人財育成への支援を通じて



会長

浅野 健

(株)金羊社
取締役会長



副会長

作道 孝行

作道印刷(株)
代表取締役



副会長

岡本 泰

(株)クイックス
代表取締役社長

業界の「未来」を創る。

日本プリンティングアカデミー後援会

会員募集中 50^{会員}突破!

当後援会は、次世代を担う印刷関連産業人の「教育」と「成長」の支援を目的とした会です。私たちは、印刷業界に特化した教育機関である JPA への支援を通して、印刷業界で活躍できる次世代の人財育成をサポートしています。また、本会が会員同士の新たなビジネスネットワークの構築・ビジネスモデルの創出のきっかけになればとも考えております。

印刷業界の「未来」を創る = 人財育成の支援のために、ぜひ本会にご入会いただけますようお願い申し上げます。

年会費

法人会員 30,000 円

個人会員 10,000 円

入会特典

JPA 主催セミナーの割引

JPA が主催する社員向けのセミナーが、特別価格でご利用いただけます。新入社員～管理職者向けまで企業の人財育成戦略に合わせた各種研修が受講できます。
※詳細についてはお問い合わせください。



入会方法

右の QR コードを読み取っていただき、入会申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。申込が確認でき次第、事務局よりご連絡いたします。

お問い合わせ

電話

03-3811-2734 後援会事務局 中村まで 平日 9:00 ~ 17:30

メール

koenkai@jpa.ac.jp ※件名に「JPA 後援会」とご記入ください。



日本プリンティングアカデミーとは？

1978 年に、共同印刷株式会社をはじめとする業界関連企業からの支援で創立された、東京都認可の専門学校・Off-JT 教育機関です。創立より、「印刷業界の事業革新と社会的価値向上に貢献できる人財を育成する」を教育理念に掲げ、これまで約 1,000 名以上の卒業生を輩出しています。また、Off-JT 教育機関として年間 200 名を超える社員の研修も行っています。

印刷業界の人財育成なら当校にお任せください

専門学校

「今」の印刷業界で働くために必要な知識・技術を総合的に学べます。

- プリント・コンテンツ学科 (1 年制)
- メディア・コンテンツ学科 (2 年制)

企業研修

実機を使いながら学べる業界特化型研修で、企業が抱える人財育成における課題を解決します。

- ベーシック研修
- カスタマイズ研修
- 業務別講座



入学者 & 受講企業募集中



学校法人 日本プリンティングアカデミー

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-13-2 平日 9 時 00 分 ~ 17 時 30 分

電話 03-3811-2734

FAX 03-3811-3557

メール info@jpa.ac.jp

印刷 専門学校



Horizon

Change the focus

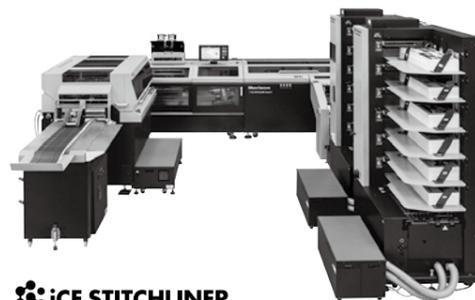
Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

無線綴じ機

iCE BINDER BQ-300

使いやすく進化した無線綴じ製本機

新世代 15 インチパネル HorizonXUI (ホリゾンクロスユーアイ) 初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



iCE BINDER

紙折機

iCE FOLDER AFV-566FKT / AFV-564FKT

生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストップの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

三方断裁機

iCE TRIMMER HT-300

高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高 300 サイクル / 時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

- 本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
- 東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
- 京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
- 福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112
- 仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

守 字 在 由

文字とつながる。
世界がひろがる。



Morisawa Fonts

デスクトップフォント

8書体まで利用可能 **Select8** 24書体まで利用可能 **Select24** 上限なく書体を選択可能 **スタンダードプラン**

Webフォント

サイト規模やプロジェクト数などに合わせて選べるプラン
Webフォント / Webフォント Lite



morisawafonts.com

お客様の「踏み出す力」になる。

価値ある情報、豊富な知見、確かな技術で。

さまざまな現場課題、経営課題を、どう解決するか。
これから進むべき方向性を、どう見極めるか。
その答えは、一つとは限りません。だからこそ、
信頼できるパートナーと共に、ベストな道を選び
たいもの。FFGSは、広範なネットワークを
活かした実践的な情報と、一社一社の戦略や
課題に合った効果的なソリューションで、
お客様の「最良の選択」をサポートします。
そして、長年培ってきた知見と技術力を
活かし、変革の一步一步をしっかりと支え、
新たな未来へ向け、共に前進していきます。



一緒に答えを導き出す会社へ。

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

ショーワ

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>



雑学コラム 野口聡の学コラム 34

47都道府県のお話 (その32: 富山県)

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラ東京・東
グラ文京支部のアクティブ・野口です。

さて、今回取り上げるのは北陸3県の最後、富山県です。
富山県と云えば、まだ20代の頃に出版社の営業をしている
時に北陸3県も担当していて、月に1回1週間かけてほぼ全地
域を周っておりました。その中でも富山はベースキャンプにな
る定宿があったりして思い出がある街になってます。因みに文
苑堂はほぼ全部行きました(笑)

そんな富山県、今回は出身者、特に文化人に注目してみよう
かと。

その1: 藤子・F・不二雄 / 藤子不二雄 A

私にとっての富山県出身の方と云ったら真っ先にこのお二方
になるわけで。詳しくは私が説明するよりほぼ史実の「まんが
道」でも読んでもらった方が良いかと。私はAこと安孫子先
生の作品の方に影響を受け(特に笑っせえるすまん)、少年期
から青年期を過ごしました。結果今でも麻雀を雀荘で打つ時の
ニックネームやXのアイコンは「喪黒福造」だったりします。

その2: 角川源義 (かどかわ・げんよし)

まず「誰?」という方も居るかもしれません。が、苗字で気
づく方も居るでしょう、俳人にして、日本有数の出版社・メデ

アミックスの雄である角川書店(現KADOKAWA)の創業者
であります。まあ「よく知らない」と云う人の方が多いでしょう、
でもこの人の正体が解らないままこの人の書いた文章は大
抵の本が好きな皆さん(ここの読者様も含めて)はきっと読んで
ます。どこで?

皆さんの家にちよっくら前の角川文庫の書籍があったら巻末
を開いてみて下さい。「角川文庫発刊に際して」というこの方
が書いた名文が載ってます。

なんとこの文章、最近の角川文庫には載ってないんだって
(涙) 本当によい文章なのにね。

3: 安田善次郎

この人も名前は聞いたことがあるかもしれませんが、でも
「誰?」って話かも。この人は戦前に三井三菱住友と並ぶ四大
財閥の一つとされた安田財閥の創始者です。多分どれかの名前は
聞いたことがあるであろう「東京大学安田講堂」「旧安田庭
園(東京都)」「安田学園」「安善駅(JR 鶴見線)」、これら全部
この人に因ります。

この方は金融業に特化した事業で知られ、両替商から事業を
興し、安田銀行(後の富士→みずほ)を創設し、損保・生保会
社(今の東京海上日動・明治安田生命)などを設立し、若手事
業家(特に浅野総一郎)などへの支援をしたとされています。
最後は右翼の人物朝日平吾に暗殺されてしまうのですが、この
人がいなかったら日本の銀行の進化の歴史はもう少し遅くな
っていたかもしれないですね。

つらつら書いてきたコラムもこの辺りで。今月もお付き合い
頂きありがとうございます。では今月の問題です。

問題: その全長 29.2 キロ。北海道美幌市と滝川市を結ぶ日本
一長い直線道路を含む日本の国道は何号線?

(正解は 29 ページ)

ジャグラBB

JaGra Broadband Contents Service

広報委員会
が選ぶ!

HOT NEWS

おすすめ番組情報

いますぐチェック!

ジャグラ BB | Q



Adobe ExpressやCanvaで
作られた入稿データも
もう怖くないにや!

カテゴリ> 教育と技術 > DX・総務経理・その他

一般ユーザーからの Adobe Express & Canva 入稿 PDF 対処法-02

Adobe Express・Canva で制作
した PDF 入稿への対処法第 2 弾。
Adobe Express・Canva での印
刷用 PDF 書き出し、Acrobat に
よるデータチェック・プリフライト
・フィックスアップ、InDesign での
ダブルトンボ付き PDF 作成まで
を画面操作で紹介します。印刷用
PDF の書き出しや Acrobat での
確認方法を知りたい方におすすめ
です。※ 2025 年 8 月 21 日時点
の機能をもとに解説しています。



アプリって割と簡単に作れるのです!

社内報アプリを 導入する企業続々!

近年、社内報をアプリで配信する企業増加中!
経営層からのメッセージや最新ニュース
などをリアルタイムで共有。
コメント機能やアンケート機能など、
デジタルが繋ぐ、広がるキズナ。

情報共有の
迅速化

データ分析による
効果測定

閲覧率・
読了率の向上
&
エンゲージメント
UP

地域活性化を促進 デジタルスタンプラリー!

手軽に参加! 観光地や商業施設で、地域活
性化や集客促進に! スマホがあれば、いつ
でもどこでも簡単に参加できます。参加者数や
達成率などの効果測定もタイムリーに OK!

ちょっと覗いて
みてください!



オリジナルアプリ作成は 研美社にお任せを!



基礎からしっかり学べる! DTP



DTP エキスパート認証試験
学科総合解説 e ラーニング講座
印刷業界で認知度の高い【DTP エキスパート認証試験】
の学科試験対策講座が登場! DTP エキスパート認証試
験を受験する方はもちろんのこと、系統立てて学びたい
という方にもおすすめの講座をご案内します。



BTube への 映像データ募集中!

スマートフォンで
簡単投稿!



投稿方法は
こちらから→



業態進化は・・・

「顧客接点の転換」

「事業領域の拡大」



業態進化委員会

業態進化委員会は、業態進化を「顧客接点の転換」と「事業領域の拡大」と捉え、これまで機関誌やジャグラBBを通じて様々なDXツールを紹介し、データドリブンマーケティングの実践まで取り組んできました。

3年間の取り組みを踏まえ、一つの道筋として、MA（マーケティングオートメーション）と印刷物の融合による「進化した業態」を示してきました。

オンライングラフィック デザインソフトCanva

顧客、ユーザー側でも利用が進む「Canva」。データ入稿時の注意点や活用方法を学び、受注機会増加へ

データドリブン マーケティング

印刷付帯サービスとして、顧客が目的とする集客をデータマーケティングの視点から実践

MA（マーケティングオートメーション）の学習

株式会社クイックスの先進事例から、Web、DM、メルマガを連携した新しいグラフィックサービスの可能性と業態進化の側面を紹介



2 クイックスの展示会視点でのMA活用事例

経営の視点	すぐ！ （近いうちの課題）	これから （中長期的課題）	まだまだ （将来的課題）
集客	・ 印刷物・DM・メルマガの連携による集客の効率化 ・ 印刷物・DM・メルマガの連携による集客の効率化	・ データドリブンマーケティングの実践 ・ データドリブンマーケティングの実践	・ 印刷物・DM・メルマガの連携による集客の効率化 ・ データドリブンマーケティングの実践
顧客	・ 印刷物・DM・メルマガの連携による集客の効率化 ・ データドリブンマーケティングの実践	・ データドリブンマーケティングの実践 ・ データドリブンマーケティングの実践	・ 印刷物・DM・メルマガの連携による集客の効率化 ・ データドリブンマーケティングの実践
業務	・ 印刷物・DM・メルマガの連携による集客の効率化 ・ データドリブンマーケティングの実践	・ データドリブンマーケティングの実践 ・ データドリブンマーケティングの実践	・ 印刷物・DM・メルマガの連携による集客の効率化 ・ データドリブンマーケティングの実践



業態進化に役立つ DXツールとキーワード



印刷業のためのCANVA活用セミナー



印刷業のためのCANVA活用セミナー第2弾
～最新機能紹介と入稿データ受入実践編～



業態進化委員会創注実践セミナー
「取り組み事例から学ぶ新しい価値提案」



業態進化委員会創注実践セミナー2
結果報告編 「企画・提案」の最前線！本音で語る実践事例とその未来



業態進化セミナー
新たなお客様を呼び込むWEB・DM・メルマガ活用術ークイックス編ー

ジャグラBBの視聴登録はこちらから→
(会員無料)





最短半日でデジタル技術が学べる

ジャグラショートカット 開講日カレンダー

日程	カテゴリ	講座名	難易度	ジャグラ会員受講料税別
10月02日(木)	Video	Premiere Proベーシックトレーニング	基本	27,000円 (通常30,000円)
10月14日(火)	DTP	DTP入門	入門	16,000円 (通常19,000円)
10月15日(水)	DTP	Photoshopベーシックトレーニング	基本	16,000円 (通常19,000円)
10月16日(木)	DTP	Illustratorベーシックトレーニング	基本	16,000円 (通常19,000円)
10月21日(火)	DTP	InDesignベーシックトレーニング	基本	16,000円 (通常19,000円)
10月22日(水)	Web	ゼロから学ぶウェブサイト制作基礎知識講座	入門	15,000円 (通常18,000円)
10月28日(火)	DTP	InDesign実務必須テクニック	応用	32,000円 (通常38,000円)
10月29日(水)				
11月05日(水)	DTP	Photoshopベーシックトレーニング	基本	16,000円 (通常19,000円)
11月11日(火)	DTP	Illustratorベーシックトレーニング	基本	16,000円 (通常19,000円)
11月12日(水)	DTP	InDesignベーシックトレーニング	基本	16,000円 (通常19,000円)
11月13日(木)	Video	Premiere Proベーシックトレーニング	基本	27,000円 (通常30,000円)
11月14日(金)	Web	HTML+CSS入門	基本	16,000円 (通常19,000円)
11月19日(水)	DTP	Illustrator実務必須テクニック	基本	16,000円 (通常19,000円)
11月20日(木)	Video	ゼロから学ぶ映像制作実習講座	基本	17,000円 (通常20,000円)
11月21日(金)	Web	HTML+CSS実務必須テクニック	応用	17,000円 (通常20,000円)
11月25日(火)	DTP	Illustrator実践講座～作図・描画編	応用	16,000円 (通常19,000円)
11月26日(水)	DTP	Illustrator実践講座～文字組み・レイアウト編	応用	16,000円 (通常19,000円)
11月27日(木)	DTP	Photoshop実務必須テクニック	応用	32,000円 (通常38,000円)
11月28日(金)				
12月10日(水)	DTP	Photoshopベーシックトレーニング	基本	16,000円 (通常19,000円)
12月11日(木)	DTP	Illustratorベーシックトレーニング	基本	16,000円 (通常19,000円)
12月16日(火)	DTP	InDesignベーシックトレーニング	基本	16,000円 (通常19,000円)
12月17日(水)	Video	Premiere Proステップアップ講座	応用	27,000円 (通常30,000円)
12月18日(木)	Video	After Effectsベーシックトレーニング	基本	28,000円 (通常31,000円)

※ジャグラ会員は講座1日間につき本体価格より3,000円(半日講座は1,500円)割引

日印産連 9月印刷の月式典

ジャグラから尾形氏、渡邊氏、本村氏が受賞

日本印刷産業連合会が主催する「9月印刷の月記念式典」が9月11日、東京都千代田区のホテルニューオータニで開催されました。

今回は日印産連40周年記念ということで、特別表彰として(株)久栄社・田畠一彌氏、(株)千修・下谷隆之氏、(株)金羊社・浅野健氏が日印産連役員永年功労者に、グリーンプリンティング認定審査員の須田治樹氏、プライバシーマーク審査センター審査委員長の牧山嘉道氏が日印産連事業永年功労者に、印刷インキ工業会、環境保護印刷推進協議会、全国グラビア製版工業会連合会、日本印刷技術協会、日本印刷産業機械工業会、日本製紙連合会、日本洋紙板紙卸商業組合、日本洋紙代理店会連合会、日本WPA、プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会が日印産連永年功労団体としてそれぞれ表彰されました。

このほか、ジャグラからは、尾形文貴氏(株)みつわ会長、現ジャグラ副会長)が印刷功労賞を、渡邊辰美氏(株)あいわプリント社長、現理事)、本村豪経氏(アイメディア株)、現理事)が印刷振興賞を受賞しました。

式典前の講演会では、印刷博物館の館長に就任した小説家の京極夏彦氏が「印刷文化—印刷メディアの可能性」をテーマに講演しました。

懇親会終了後は場所を移して、渡邊氏は体調不良によりあいにくの欠席でしたがジャグラメンバーで3氏の受賞祝賀会を開催しました。

【印刷功労賞】

■ 尾形 文貴氏
株式会社みつわ 代表取締役会長

2008年から現在まで理事、監事、副会長を務める。「経営基盤確立委員会」の委員としてインターネット放送「ジャグラBB」を中心とした教育事業を推進。「環境対策委員会」「CSR委員会」等の委員および委員長を務め、通算10年間にわたり印刷会社の環境対応の啓蒙に尽力。2012年より2015年まで「個人情報保護委員会」の委員に就任、Pマーク制度普及に努めるなど、中小印刷業の経営品質向上に貢献した。

【印刷振興賞】

■ 渡邊 辰美氏
株式会社あいわプリント 代表取締役社長

2018年より現在まで、全国理事を務める。また、2018年から現在まで北海道地方協議会 地協会長、2014年より現在まで北海道支部 支部長を務め、地協支部活動に貢献した功績は多大である。

■ 本村 豪経氏
アイメディア株式会社 代表取締役

2017年から現在まで理事を務める。2018年から2022年まで青年部代表幹事に就任。2022年より広報委員会委員長として動画配信、機関誌、広報アプリ運営等、社団の情報発信の中核を担っている。



左から4人目が尾形氏



左から尾形氏、岡本会長、本村氏



祝賀会の様子

スクール 名称変更のご案内

JaGraスクールは、2024年4月より「ジャグラショートカット」という新名称で再スタートしました！
"最短半日でデジタル技術が学べる"をキャッチフレーズに、今後も実務にすぐ役立つ短期講座を提供してまいります。
講座内容詳細や受講方法はジャグラショートカットのウェブサイトをご確認ください。

URL <https://www.jagra.or.jp/school/>



インドネシア人技能実習生は、うちの「戦力」。 共立速記印刷の挑戦

初めての外国人材受け入れ。不安を乗り越え、出会った優秀な「仲間」たち



中神工場長



「正直、最初は不安でした。外国人を雇うなんて、考えたこともなかったですから」

共立速記印刷の笹井靖夫社長は、そう言ってインタビューを始めた。日本の印刷業界で長年事業を続けてきた同社にとって、技能実習生の受け入れはまさに未知の領域だった。しかし、人材不足という課題に直面し、新たな道を探る中で、2017年に初めてインドネシアから3名の技能実習生を受け入れる決断をした。

この最初の3名の実習生が、その後の同社の外国人材受け入れの成功を決定づけた。「彼らが非常に優秀で、その後の基準になってしまいました」と社長は振り返る。日本語能力はもちろんのこと、仕事に対する積極性や、真面目な姿勢が際立っていたという。彼らの存在は、社内の外国人材に対する不安を一掃し、期待へと変えていった。

日本語の壁を乗り越える。工夫された指導体制

技能実習生の受け入れで最も大きな課題となるのが言語の壁だ。共立速記印刷では、この問題をクリアするために独自の指導体制を築いている。

「機械の細かい操作やニュアンスは、やはり日本語だけでは伝わりにくいんです。だから、技術的な指導は、日本語が堪能なインドネシア人の先輩実習生に任せることが多

いです」と、現場の責任者である中神士範工場長は説明する。OJT（職場内訓練）の多くは先輩が担当し、日本語では伝えきれない細かなコツや注意点を、母国語であるインドネシア語で丁寧に教えている。

しかし、全てを任せきりにするわけではない。機械の故障対応や、製品の最終チェックといった重要な判断は、必ず日本人が行う。「この仕上がりで大丈夫か？」という最終確認は、日本人スタッフが責任をもって判断している。

また、コミュニケーションエラーを防ぐための工夫も欠かさない。以前、日本人スタッフが注意したことが、言葉の壁で実習生にうまく伝わらないという事態が発生した。これをきっかけに、同社は翻訳アプリなどを積極的に導入し、コミュニケーションの質を高める努力を続けている。

「言葉が完全に通じなくても、ジェスチャーや表情、そして何より『伝えよう』という気持ちが大切なんです」と中神工場長は語る。

自主性を重んじる教育方針。実習生たちの成長が企業の力に

共立速記印刷が実習生に求めるのは、何よりも「向上心」と「自主性」だ。面接では、体力テストや日本語の筆記試験も行うが、最終的に重視するのは「自主的に学習し、行動できるか」という点だという。

実際に、日本語の上達度合いは個人差が大きい。来日当初は皆同じようなレベルだが、その後は「日本人とどれだけ話しか、自分自身でどれだけ勉強するか」によって、大きな差が出てくる。

「日本語の勉強は何でやっているんですか？」という質問に、実習生の一人は「アニメや日本の歌で勉強しています」と答える。分からない単語があれば、すぐに日本のスタッフや先輩に質問する。そうした「分からないことをそのままにしない」姿勢が、彼らの日本語能力を飛躍的に向上させている。

特に、仕事で使う専門用語や、日本語の「数字」の習得

は徹底させている。「100部と200部を間違えては、大変なクレームになってしまう。だから、まずは数字を完璧に覚えてもらうようにしています」と笹井社長。

生活面も手厚くサポート。安心できる環境づくり

実習生が日本で安心して生活できるよう、共立速記印刷は生活面でも手厚いサポートを行っている。

住居については、受け入れ当初は複数人で共同生活を送っていたが、現在は実習生本人の希望を尊重し、一人一部屋を確保している。一軒家を借り上げ、各部屋を個室とし、風呂や台所は共同で使用するスタイルだ。これは実習生たちがプライベートな時間を確保し、リフレッシュできるようにという配慮からだ。

「一人ひとりの希望を聞いて、できる限り応えるようにしています。彼らが不自由なく、ストレスなく生活できることが、仕事のパフォーマンスにもつながりますから」と話す。

また、病院や役所の手続きなど、日本語が必要な場面では、必ず日本人スタッフが同行する。初めての海外生活で、病気になったり、困ったことがあったりする際の不安を軽減するためだ。

多文化共生がもたらす新たな価値

共立速記印刷の社内では、すでに多文化共生が当たり前になっている。

「今では、彼らがいないと寂しいですね。まるで家族のようです」と、中神工場長は笑顔で語る。文化や習慣の違いによるトラブルはほとんどないという。

「彼らは、自分たちの文化や宗教を守りつつ、日本の生活にもうまく適応してくれています。私たちも、彼らの文化を尊重し、理解しようと努めています」。

今後、同社は技能実習制度で培った経験を活かし、外国人材が長期的に働けるような環境をさらに整備していく考えだ。技能実習を終えた実習生が、再度特定技能などのビザで日本に戻り、同社で働けるような道筋も模索している。

「せっかく日本で身につけた技術や日本語を、帰国後も活かせるようにしてあげたい。日本とインドネシアの架け橋となり、彼らの人生を豊かにする手助けができれば、私たちにとってもこれ以上嬉しいことはありません」。

共立速記印刷の挑戦は、単なる人材確保に留まらない。それは、異文化を持つ若者たちが、日本の社会で活躍できる場を提供し、互いに成長しあう、新しい時代の企業経営の形なのかもしれない。



笹井社長



SPACE-21 広報部 「楓翠会」工場見学&セミナー参加報告 ～工場の見える化の原点はどこにある?～ リコー・スモールDXセミナー + (株)広瀬印刷・(有)共立製本見学会

田中 絵理
(株)広瀬印刷 業務管理部



今年8月に広瀬印刷へ入社いたしました田中絵理と申します。前職は地元の老舗醤油蔵で営業、その前は司法書士事務所、さらにその前は保育士という、業界をまたぐ転職歴を持つ“職業ジプシー”です。印刷のことはまだまだ勉強中ですが、瀬尾社長とは前職時代に広島西法人会青年部で一緒にいたご縁もあり、こうして新たな一歩を踏み出しました。右も左もインキも紙も分からない私ですが、皆様の知恵と経験にすがりながら、少しずつ印刷の世界に染まっていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、この度楓翠会では8月29日に、毎年恒例になりつつある工場見学+納涼会にリコージャパン株式会社様(以下リコー様)によるスモールDXセミナーを加え、14時～21時まで事業を開催しました。

まず事業は広瀬印刷内で行われた、リコー様によるセミナー「小さく始めるDXのお勧め～バーコード活用による成功事例の紹介～」からスタート。札幌の正文舎様、広島のエシキコネクト様の事例を交えながら、印刷業界におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の可能性について、実践的な視点でわかりやすくご紹介いただきました。

印刷工程は多くの人の手を経て成り立つ複雑なプロセスですが、バーコードを活用したデジタル管理によって、以下のような効果が期待できるとのことでした。

- 属人化・職人化の解消による人員の最適化
 - 作業進捗のリアルタイム把握による工程管理の効率化
 - 経営者視点での単品損益の可視化
 - 自動化によるワンオペレーションの実現で、障がいのある方や外国人、短期アルバイトでも作業が可能に
- さらに、リコー様が推進しているDXは、Excelをベースにしたアプリを活用しているため、初期導入費を抑えられるというメリットがあるとのことでした。これは設備投資に慎重な中小企



リコー様 DX セミナー

業にとって非常に魅力的なシステムであり、現場への浸透もスムーズに進められる点が印象的でした。

中でも心に残ったのは、「DX成功の鍵は、トップの強いメッセージとビジョン」という言葉です。DXは単なる業務改善にとどまらず、業界全体をより良くしていく力があることを改めて実感しました。

セミナー後は、当社の工場見学へ。最新のレーザープリンターで作成された木製キーホルダーは、細部までこだわった精巧な仕上がりで、印刷技術の新たな可能性を感じる一品でした。設備も多彩で、入社したばかりの私にとっては、見ているだけでワクワクする空間でした。



特練インキ製造装置の説明(広瀬印刷)



カレンダー製本機(共立製本)

続いて、商工センターにある当社グループ会社・有限会社共立製本を訪問。2日前に導入されたばかりの壁掛けカレンダー製本機を見学しました。この機械は、スタートボタンを押すだけで、表紙と12か月分の用紙が自動で組み合わせられ、ミシン目加工、ヘッダー部分への印刷・接着までを一気に仕上げてしまうという優れたもの。通常なら複数の工程に分かれる作業が、1台で完結するというのは驚きで、現場の省力化やスピードアップに大きく貢献してくれそうです。

そして夜には、会場を移して懇親会(納涼会)が開催されました。印刷業の現状や課題、これからの展望などについて、ざっくばらんな意見交換が行われ、業界の垣根を越えたつながりを感じるひとときとなりました。

セミナーから工場見学、懇親会までを通じて、印刷業界の“今”と“これから”を肌で感じる事ができた、非常に充実した一日となりました。



レーザー加工お土産品

業界の動き

イベント

HOPE2025 に出展 ガリ版体験盛況に ジャグラ

HOPE 実行委員会主催の HOPE2025 (HOKKAIDO PRINT EXPO2025) が9月3日(水)、4日(木)の2日間、北海道札幌市のアクセスサッポロで開催されました。

2日間で3,164名が来場した会場では、今年もジャグラブースを展開。今回は、「印刷屋さんのお仕事展」の出張版として、令和6年度ジャグラ作品展の受賞作品を展示しました。また、ガリ版印刷キットを持ち込み、ガリ版体験教室も開講。事前に市内の専門学校へと告知チラシを配布したところ、多くのデザイン関連の学生に来場いただき、限られた人数ではありましたが、ガリ版印刷を体験していただきました。

会場を訪れた印刷関連業の方々にとっても懐かしいアナログ印刷に触れていただき、改めてグラフィックサービスの魅力を感じていただくことができました。



HOPE2025 オープニングのテープカット



主催の岸実行委員長



祝辞を述べる岡本会長



ガリ版体験の様子

イベント

ぼうさいこくたいに初出展 ジャグラコンパスをPR 地域活性化委員会

防災推進国民大会 2025 実行委員会(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)主催の防災推進国民大会 in 新潟(ぼうさいこくたい 2025) が9月6日(土)、7日(日)の2日間、新潟市の朱鷺メッセで開催されました。

ジャグラ地域活性化委員会(齋藤秀勝委員長)は、岡副会長(担当理事)、齋藤委員長、木戸委員、杉田委員、田中が参加。ブースでは、リコージャパンの青木委員ご協力のもとプリンターと木戸委員のPC、モニターを設置し、ジャグラコンパスセーフティマップ(以下コンパス)を実演しました。コンパスの機能はもちろん、指定緊急避難場所を紙に出力する必要性を会場で訴求したところ、自治体やNPOなど様々な災害関係者から共感を得ることができ、市場調査として様々な情報収集ならびに情報交換を行うことができました。

通常の展示に加え、初日の19時半から、出展者による大交流会が開かれ、齋藤委員長が登壇してコンパスをPRしました。入場フリーのため正確性にはかけますが、公表1万9,000人が来場しました。

次回は2026年10月17日(土)、18日(日)、鳥取県倉吉市のエスパック未来中心で開催されます。



ジャグラ

Adobe Express 入門講座を開講
生成 AI 連携機能も説明
ショートカット委員会

ジャグラショートカット運営委員会は、賛助会員の(株)モリスワフ様ご協力のもと、「印刷会社のための Adobe Express 入門講座」を8月27日(水) 13:30～16:30 にオンラインで開催し、全国から36名のジャグラ正会員の方にお申し込みいただきました。

当日は、ジャグラショートカット運営委員会の武川優委員長(東京三多摩)が開会あいさつを行い、本編では日本初の Adobe Express 解説書『Adobe Express 使い方入門』の著者である増田幹男講師がデモを交えながら Adobe Express の概要説明、Illustrator や Photoshop との連携機能、生成 AI 機能、Adobe Express で作成されたデータを印刷する際の注意点について解説。Q&A コーナーでは、(株)モリスワフの長谷川昌紀氏もサポートに加わり、受講者からセミナー中に寄せられた質問へライブで回答しました。セミナー終了後の受講者アンケートには20件の回答があり、「Adobe Express の全体像がよくわかりました」「生成 AI との連携がわかりやすかった」など高評価をいただきました。



関連業者

価格改定
三菱製紙

三菱製紙(株)は10月21日分から印刷・情報紙の価格を改定します。

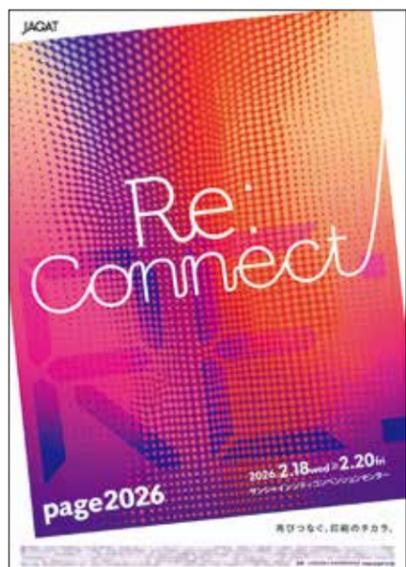
- <対象製品>
- ・印刷用紙全般(上質紙、塗工紙、微塗工紙、他)
 - ・情報紙全般(PPC用紙、フォーム用紙、他)
- <改定幅>
- ・印刷用紙全般 現行価格+10%以上
 - ・情報紙全般 現行価格+10%以上

<実施時期>
10月21日出荷分より

イベント

“印刷のチカラ”テーマに page2026
2026年2月18日～20日、池袋サンシャイン
JAGAT

(公社)日本印刷技術協会(JAGAT)は、2026年2月18日から2月20日までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティで『Re:Connect 印刷の力』をテーマに「page2026」を開催します。今回で39回目を迎える「page」は、機材展にとどまらずデジタルメディア分野まで幅広く捉えた内容が特徴です。今回、開催に際し、page2026では、新たな試みとしてポスターデザインの公募を実施し、厳正なる審査の結果、東洋美術印刷株式会社様が制作されたデザインに決定しました。



<お詫びと訂正>

月刊グラフィックサービス9月号11ページ「広報委員会より」の記事で誤った画像を掲載いたしました。正しくは下記の画像(文字等のカスレ)です。



事務局日誌と
今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

9月の事務局日誌

- 1日 広報委員会(Web会議) 自費出版文化賞最終選考会(東急REI)
- 2日 MIS研究委員会(Web会議)
- 3日 HOPE2025(北海道)→岡本会長、田中専務 Pマーク現地審査(神奈川)
- 4日 HOPE2025(北海道)→田中専務、笠原 Pマーク現地審査(千葉)→今田
- 5日 SPACE-21 幹事交流サミット、正文舎見学会(北海道)→田中専務、笠原
- 6日 ぼうさい国体2025(新潟)→岡副会長、齋藤理事、田中専務 SPACE-21 幹事会(北海道)→笠原
- 7日 ぼうさい国体2025(新潟)→岡副会長、齋藤理事、田中専務
- 9日 生産性向上委員会(Web会議)
- 10日 会員拡大委員会(Web会議)
- 11日 理事会(本部) 印刷の月次典(ニューオータニ)
- 12日 地域活性化委員会(Web会議)
- 16日 作品展委員会(Web会議)
- 17日 Pマーク審査会(本部) 個人情報保護委員会(本部)
- 18日 Pマーク現地審査(兵庫)→田中専務、今田
- 19日 Pマーク現地審査(大阪)→田中専務、今田
- 24日 日印産連ステコミ→岡本会長、田中専務 サスティナ酒場(Webイベント) 業態進化委員会(Web会議)
- 25日 日印産連GP推進部会→田中専務
- 26日 Pマーク現地審査(愛媛)→今田

10月のスケジュール

- 1日 Pマーク現地審査(秋田)→田中専務
- 2日 Pマーク現地審査(秋田)→田中専務
- 6日 サスティナブル委員会(Web会議)
- 8日 MIS委員会(Web会議)
- 9日 Pマーク現地審査(千葉)→田中専務、今田
- 11日 関地協大会(松本)→岡本会長
- 14日 Pマーク現地審査(山梨)→田中専務
- 15日 2025GP 環境大賞等表彰式→笠原
- 17日 SHOWA 会総会(東京)→田中専務 Pマーク現地審査(神奈川)→田中専務
- 21日 Pマーク現地審査(埼玉)→今田
- 22日 業態進化委員会(ウェビナー)
- 23日 生産性向上委員会(Web会議)
- 24日 正副会長会議(本部)
- 25日 SPAE-21 全国協議会(土浦 ホテルマロウド筑波)→岡本会長、田中専務、笠原
- 28日 会員拡大委員会(Web会議) Pマーク現地審査(東京)→今田
- 29日 70周年誌編纂委員会(Web会議)
- 30日 作品展委員会(Web会議)

11月のスケジュール

- 4日 広報委員会(Web会議)
- 5日 Pマーク審査会(本部)
- 6日 地域活性化委員会(本部)
- 7日 理事会、全国協議会、懇親会(1日目)(KFCホール、第一ホテル両国)
- 8日 全国協議会(2日目)(KFCホール) 自費出版文化賞表彰式 役員推薦委員会(KFCホール)
- 11日 印刷タイムス70周年記念イベント(大阪)→岡本会長、田中専務
- 12日 Pマーク現地審査(大阪)→田中専務
- 13日 Pマーク現地審査(大阪)→田中専務
- 14日 Pマーク現地審査(大阪)→田中専務
- 19日 日印産連ステコミ(Web)→岡本会長、田中専務 サスティナ酒場(Webイベント)

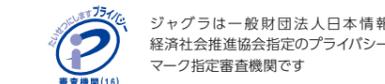
事・務・局・便・り

4月に入局し、気づけば10月21日で半年となります。振り返ると、本当にあっという間です。入ってすぐに経験した東京大会、担当委員会で、会員の皆さんの顔と名前が少しずつ一致してきた喜び、そのほかのイベントなど、毎日が目まぐるしくも、非常に濃い時間でした。正直、最初のうちは不安でいっぱいでしたが、周りの皆さまに助けられてばかりの半年だったと、改めて感じています。ようやく、少しずつですが自分なりのリズムで動けるようになってきたところです。次の大きな舞台は、11月の「全国協議会」。また緊張する日々になりそうですが、この貴重な経験を楽しみながら乗り切りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。(笠原)

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

月刊『グラフィックサービス』887号

■発行日 令和7年10月10日(毎月1回)
■発行人 岡本 豪
■編集人 本村 豪経
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006 ウェブ https://www.jagra.or.jp/



■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画: ジャグラ広報委員会

担当理事 神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ/副会長
委員長 本村 豪経 福岡・アイメディア(株)/理事
委員 東海林正豊 秋田/(株)東海林印刷
谷山 和也 東京/菁文堂(株)
野口 聡 東京/(株)アクティブ
小澤孝一郎 山梨/(株)オズプリンティング
安達 睦男 大分/(株)舞鶴孔版
瀬尾 淳 広島/(株)広瀬印刷
三宮 健司 高知/(株)三宮印刷
佐藤 愛子 大分/(株)クリエイツ
西谷 毅 東京・文京/(株)西谷印刷(株)
松谷 勝広 東京・文京/(株)松谷メールサービス
笹井 靖夫 東京・文京/共立速記印刷(株)
田中 良平 専務理事

◎原稿・編集・校正
田中 良平 阿部奈津子 今田 豪
長野未奈美 古田 理子 笠原賢一郎
以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平
◎広告 田中 良平
◎Web 阿部奈津子 古田 理子
◎動画 今田 豪

◎組版 (株)クリエイツ(大分県支部)
DTP = Adobe CC ほか
フォント = モリスワフ OTF / モリスワフ BIZ+ ほか

◎製版/印刷 (西村膳写堂(高知県支部))
RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf
CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)
刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F
印刷機 = RYOBI 924D
インキ = 東洋インキ
用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎組版/印刷 (西村膳写堂(高知県支部))
RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf
CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)
刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F
印刷機 = RYOBI 924D
インキ = 東洋インキ
用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

Copyright 2025 JaGra
禁無断引用
※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています
※乱丁/落丁本はお取り替えいたしません

Copyright 2025 JaGra
禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています
※乱丁/落丁本はお取り替えいたしません

【雑学コラムお題の答え】12号線

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



グラフィックサービス GS No.887 2025.10

RMGT-CSPIが
SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

